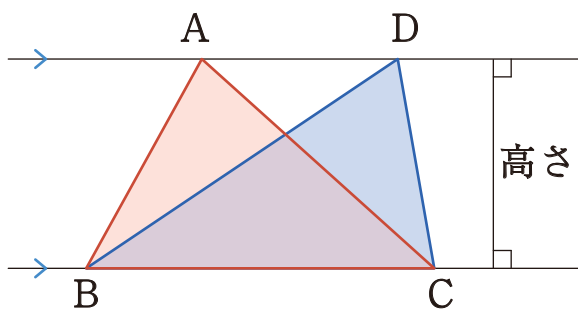


平行線と図形の面積

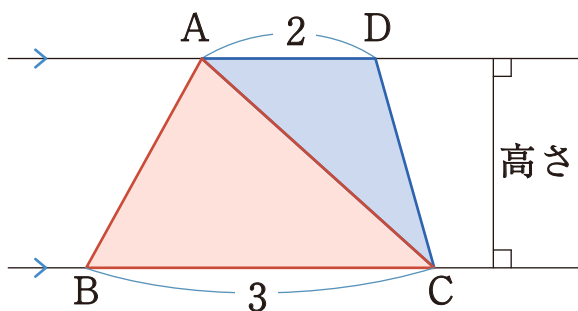
平行線と図形の面積

次の図で $\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ は底辺が共通で、
頂点を通る直線が底辺に平行なので高さが等しい三角形となる。
そのため、 $\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ の2つの三角形の面積は等しい。



$\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ の面積は等しい
 $\triangle ABC = \triangle DBC$

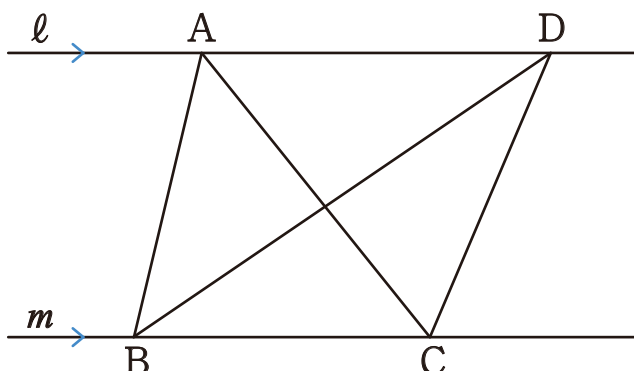
高さが等しい2つの三角形の面積の比は、底辺の長さの比と等しくなる。



$\triangle ABC$ と $\triangle ACD$ の面積の比は
底辺の長さの比と等しい。
 $BC:AD = 3:2$
よって、 $\triangle ABC:\triangle ACD = 3:2$

1 次の図で直線 l , m が平行なとき、次の三角形の面積の比を求めなさい。

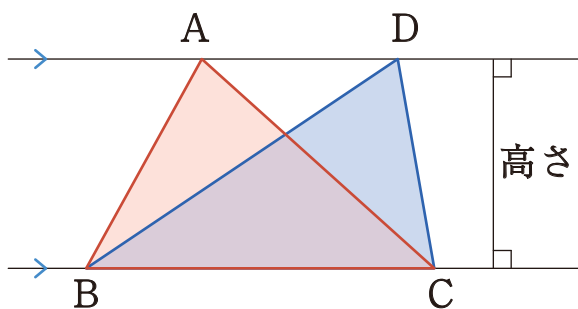
① $\triangle ABC$ と $\triangle DBC$



平行線と図形の面積

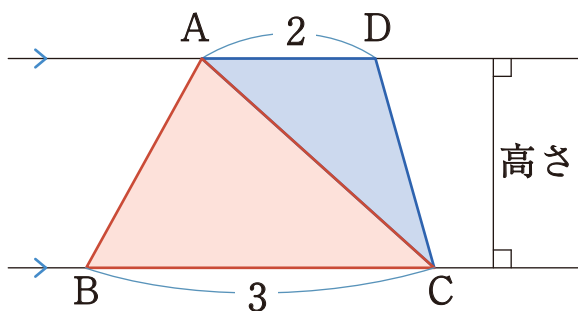
平行線と図形の面積

次の図で $\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ は底辺が共通で、
頂点を通る直線が底辺に平行なので高さが等しい三角形となる。
そのため、 $\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ の2つの三角形の面積は等しい。



$\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ の面積は等しい
 $\triangle ABC = \triangle DBC$

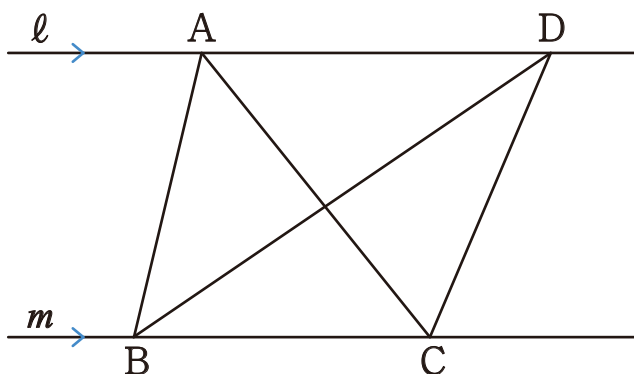
高さが等しい2つの三角形の面積の比は、底辺の長さの比と等しくなる。



$\triangle ABC$ と $\triangle ACD$ の面積の比は
底辺の長さの比と等しい。
 $BC:AD = 3:2$
よって、 $\triangle ABC:\triangle ACD = 3:2$

1 次の図で直線 l , m が平行なとき、次の三角形の面積の比を求めなさい。

① $\triangle ABC$ と $\triangle DBC$



1:1

$\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ は、
底辺が共通で
高さが等しいので、
面積は等しい。